

後期新執行部が順調にスタート!~

「生徒会長のカ強いメッセージがありました。~Ishichu Pride December 2024



12月10日(火)。生徒会役員選挙後、最初の生徒朝会が開催されました。後期新執行部が会を進行しましたが、三瓶会長をはじめとする執行部は、発表の声が大きくて聞きやすく、態度も堂々としていて、リーダーにふさわしい姿を見せていました。生徒会長から「生徒会の活動、執行部だけでできることではなく、皆さん全員で進めていくことです。協力して行きましょう」という主旨のメッセージが話されました。校長も全く同感でよく講話にも同じ主旨の話をしますが、生徒の代表から出たメッセージに感動してしまいました。各専門委員長からの指示・連絡も的確な内容でした。新生徒会執行部、期待しています。

朝会が新体制になった時に、私が注目するのは3年生の集会に臨む姿勢です。下級生が仕切る集会ですので、緩んだ気持ちで参加する3年生がいたりするのですが、本校3年生は、いつもと変わらず、私語もない状態で一番最初に速やかに整列し、下級生の模範となる姿勢をみせていました。受験を控えた最近の授業への集中ぶりといい、本校3年生の成長ぶりには驚かされます。

~学期末に向けて~自己と向き合う時間を!

【全校朝会より】 12月3日(火)の全校朝会講話では、昨年に引き続き「清掃と受験勉強は自己と向き合い、自分をコントロールところが同じ。」という話をしました。お掃除も受験勉強も形だけでやったふりをするのは簡単です。ぞうきんがけ。本気できれいにしようとする人と、雑にやっている人の姿勢はすぐわかります。宿題やワーク・ノートの提出でも本気でやっている人の字、丸付けの跡は違います。2学期末から冬休み、3学期。自分自身と対話し、自分自身を見つめ直し、どうすればいいかを考え、判断し、学習に部活やクラブチームの活動に、習いごとに取り組み、自分を輝かせてほしいと思います。そして素敵な高校生、上級生になってほしいと願う校長です。

～表彰者紹介～ 12月3日（火）全校朝会にて表紙しました。

第57回岩手県中学校スケート大会アイスホッケー競技 第1位 カシオペアスターズ・石鳥谷イーグルス【代表】佐藤悠真（2年）

第57回岩手県中学校スケート大会アイスホッケー競技 第3位 盛岡レトウィングス、水沢ドルフィンズ【代表】鳥畑悠星（3年）

※いよいよアイスホッケーシーズンの開幕ですね。今年も大活躍期待しています。

第6回フラワーロールカップ年代別ダブルスバドミントン大会 第1位 似内大和・佐々木篤輝（2年）

第3位 佐藤遥斗（2年）・高橋悠人（1年）

※県大会後すぐの大会でしたが、油断せずがんばっているようです。

第76回稗貫支会児童・生徒音楽会 優良賞 佐々木滯（3年）・優良賞 村本奈々（2年）

※放課後に集中して練習していました。演奏をエンジョイできたそうで何よりです。

岩手県KB野球連盟優秀選手賞 川村駿士（3年）

※Kボールの中学生野球大会での活躍を評価されました。来春に向けて更なる活躍期待しています。

～がん教育講演会を実施しました～



12月6日（金）3校時の時間に2年生を対象にがん教育講演会を実施しました。がんは日本人の死因第1位であり、国民の2人に1人がかかると推測されています。「がん対策基本法」の改正（H28.12）によりがん教育については学習指導要領にも明記されました。中学校では令和3年度から全面实施されています。今回は外部講師を招き、専門的な内容を含むがん教育を行い、正しく理解し、命の健康の大切さについて考えることを目的にしての実施となります。講師は石鳥谷保健センターの保健師である高橋千恵子さんと伊藤美登里さんです。お忙しい中、時間をつくって来ていただきました。生徒たちの真剣な聞く姿勢に、今回もお褒めの言葉を頂きました。生徒たちの感想を読むと「喫煙の影響がよくわかった。」、「朝食をしっかり食べるようにしたい。」、「睡眠時間の大切さがわかった。」等、改めて生活習慣を見直している生徒がたくさんいました。

健康で幸せな大人になってほしい、悲しい思いをしないで楽しい人生を送ってほしいという願いでお話を頂きました。1年生の皆さんは5時間目という少し眠くなる時間帯にも関わらず、真剣な表情で聞き入っていました。スマホの普及によるSNSでの性被害や健康への悪影響についてのお話もあり、1年生の皆さんに本気で考えてほしい内容がたくさんありました。ぜひ、今の自分の対話して、今後の自分の生き方について考えてほしいです。

～1年生は思春期講演会を実施～



12月11日（金）5校時は1年生を対象に思春期講演会を実施しました。「性に関する正しい知識と意識を持ち、心身を大切にした行動がとれる」生徒の育成をねらっています。講師は学校医でもある日本女性財団いわてリアルプラットホーム連絡会会長の玉木光子先生（いしどりや眼科）です。先生は岩手県の女性を支援する団体の会長を務められています。性被害や望まない妊娠、貧困などで苦しむ女性を助けたいという強い思いで様々な活動を行っています。本校の生徒が将来、健康で幸せな大人になってほしい、悲しい思いをしないで楽しい人生を送ってほしいという願いでお話を頂きました。1年生の皆さんは5時間目という少し眠くなる時間帯にも関わらず、真剣な表情で聞き入っていました。スマホの普及によるSNSでの性被害や健康への悪影響についてのお話もあり、1年生の皆さんに本気で考えてほしい内容がたくさんありました。ぜひ、今の自分の対話して、今後の自分の生き方について考えてほしいです。

健康で幸せな大人になってほしい、悲しい思いをしないで楽しい人生を送ってほしいという願いでお話を頂きました。1年生の皆さんは5時間目という少し眠くなる時間帯にも関わらず、真剣な表情で聞き入っていました。スマホの普及によるSNSでの性被害や健康への悪影響についてのお話もあり、1年生の皆さんに本気で考えてほしい内容がたくさんありました。ぜひ、今の自分の対話して、今後の自分の生き方について考えてほしいです。